

今回は、通常の稽古体系に沿ったものを演武として披露しました。

- ・基本稽古抜粋
- ・移動稽古：ワンツから前蹴り・廻し蹴り、五本蹴り・とび後ろ回し蹴り など
- ・ミット稽古：パンチ、膝蹴り、回し蹴り
- ・型：平安その1、平安その3
- ・組手：少年部全員、一般部全員
- ・試し割り：少年部全員、一般部全員
- ・有段者演武：杉本参段（手技4方割り、足技4方割り）

演武終了後あいさつを行い、稽古に対する心構えなどを述べました。

- ・終わりのあいさつ：杉本

『本日は極真会館 大石道場の演武をご覧いただき、ありがとうございました。

我々の稽古は、体と心を鍛え、強くなることを目標にしています。

強くなったぶんだけ、優しくなれと教えています。

学校や塾では教えてくれないことを教えています。

人の前をズカズカと通らない、物をいただくときは両手でもらう、人の話を聞く時はしっかりと顔と耳をかたむける。先輩は後輩の面倒をみる。後輩は先輩、目上の人をうやまう。

本来は当たり前のことですが、それができないのは、その事を教わる場所がないから、知らないだけだと思います。

できることをやらなければ、道場生はもちろん、父兄にもしっかりと怒ります。

演武を行なった道場生を見ていただければわかりますが、みんなしっかりしています。

しっかり立っていられます。

それは最初からできたわけではなく、空手の稽古を通じて、身につけたものです。

少年部は小さな頃にそれを身につけ、大人になっていく。

一般部の大人は、それを仕事や社会生活に生かしていく。

本当に強くなるよう体と心を鍛えながら、充実した生活をおくる。

そんな中で、私たち大石道場では年間3,4回の大会があります。厳しい試合ですが、出たい人は誰でも出場できます。補欠はいません。

試合は自分を磨くところですから、誰でも参加できます。

先月行われました山梨県大会では、当道場で16名参加し、優勝者4名、準優勝者4名、3位入賞者3名の計11個の入賞をはたしました。その1週間後の岐阜県大会では4名参加し、優勝者3名、3位入賞者1名の全員入賞をはたしました。

大会の目標としては全員参加、全員入賞を目指しております。補欠は1名も作りません。

興味をお持ちになった方はぜひ一度見学に来てください。体験もできます。

本日は、ありがとうございました。』

以上、道場活動報告でした。 清水南道場 指導責任者 杉本龍哉

押忍

# 不二見まつり演武会

2012年11月11日(日)



基本稽古



基本稽古



ミット稽古



ミット稽古



組手 吉田悠大・大希



型



組手 佐藤碧葉・岩本沙弥子



三本蹴りから飛び後ろ廻し蹴り 岩本颯真



正拳中段突き 平田翔也



ひざ蹴り 69歳、川島富美子



杉本参段による足技四方割り



正拳中段突き 岩本藤子



清水南・レオリブレ道場 演武参加者